



吉川市立吉川中学校
2020年4月開校

春夏秋冬

「考える 蓄える 伝える生徒」

令和7年度 8・9月



生徒数 8月29日現在
1年生 280名
2年生 255名
3年生 269名
合計 804名

〒342-0038
住所 吉川市美南 5-17-1
電話 048-984-7565

全国高校野球選手権大会に思うこと

校長 伴野 忠

今年も甲子園に熱い夏が帰ってきました。高校球児たちの熱い思いに毎年感動をもらいます。地方大会も含めて、球児たちはこの経験を生かし大きく成長するとともに一生の宝物を得ることでしょう。

私は、もちろん技と技、思いと思いがぶつかる試合も好きなのですが、それと同じくらい楽しみにしていることがあります。それは、試合後の監督へのインタビューです。どの監督もさすが激戦の地区大会を勝ち抜いてきただけあって、とてもいい表情（顔つき）をしており、その言動から優れた指導者であると感じます。そのような監督が何を語るか。甲子園に導くような監督のコメントや考え方は大変素晴らしく、冷静な分析、謙虚で決して批判をしない、選手を褒めたたえる、相手選手・監督を含め選手をリスペクト・感謝する、そして、大方の監督が口にするのは「選手に勝たせてもらった」など。

私は、人間的にも能力的にも素晴らしいこのような監督だからこそ、選手と監督との間に信頼関係が生まれ、選手は監督を信じ、監督は選手の性格、能力、可能性等すべてを把握し、選手1人1人の力を引き出し、或いは力以上のものを引き出し、1試合ごとに成長させ、監督が選手を勝たせてやったと思っています。

平成29年に全国高校野球選手権大会で初優勝を成し遂げた花咲徳栄高校野球部監督の岩井隆さんと全国優勝を果たした3か月後に対談したことがあります。思っていたより小柄で、グラウンドとは別に物静かな方でしたが、内に秘めたる闘志からの威圧感は何もの凄いものがありました。印象的だったのは、技術的な指導を重視するというよりも生徒とのコミュニケーションや人間性の成長を重視していたことです。当時の岩井監督が自身のチームを強くするために特に意識して力を入れていたことは、著名な指導者や経営者の話を聞くことだそうです。まさに組織のマネジメント、そして、子どもたちの成長を最優先に考えていたことが伺えます。

2学期が始まりました。2学期はさらに深まる学習、新人戦や合唱祭など、子どもたちの成長を促す場面が数多くあります。吉川中では、甲子園で活躍する高校球児のように教師と生徒が確固たる信頼関係の上に立ち、教師が子どもたちの能力や可能性などをよく把握した上で、それを引き出し、そしてさらに伸ばし、確かな成長を育む、そんな生徒1人1人が輝く2学期にしていきたいと思います。



【9月の主な予定】

- 2日(火) 給食開始 東部地区学力テスト(3年)
- 3日(水) 避難訓練
- 4日(木) 専門委員会
- 5日(金) 英語弁論大会 校外学習(9組)
- 8日(月) 部活動壮行会
- 10日(水) 非行防止教室
- 16日(火)・17日(水)・18日(木)
新人体育大会兼県民スポーツ大会地区予選中心日
※16日(火)・17日(水): 給食なし
- 17日(水) 租税教室(3年)
- 22日(月) ふれあいデー
- 24日(水) 生徒会立会演説会



【10月の主な予定】

- 6日(月) 中間テスト1日目
- 7日(火) 中間テスト2日目
- 10日(金) 生徒会任命式
- 12日(日) 市民体育祭(会場)
- 15日(水) 市内駅伝大会
- 16日(木) 専門委員会
- 20日(月) 後期時間割開始
- 21日(火) ふれあいデー



- 29日(水) 三者面談開始(3年)
- 30日(木)・31日(金)・11月1日(土)
学校公開(11月1日(土)は合唱祭)

※日程等については後日お知らせします